

“やってみる”から始まる成長

北海道とは思えないような厳しい暑さの中、2学期がスタートしました。熱中症対策については、保護者の皆様のご協力もいただきながら、学校としても一層気を引き締めて対応してまいります。

さて、2学期の大きな行事の一つに、学校祭・手稲夜明かり（9月26日～）があります。校舎ではステンドグラスやランプシェードを使って幻想的な空間を演出する準備が進められており、体育館では各学年のステージ発表や合唱部・吹奏楽部による演奏などに向けて、子どもたちが懸命に取り組んでいます。

こうした活動の中で、子どもたちはそれぞれの「やってみたい」という思いと向き合いながら、試行錯誤を繰り返しています。何かを始めようとするとき、「時間がない」「やり方がわからない」など、“できない理由”を考えてしまうことは誰にでもあります。しかし、本当にやりたいことがあると、人は「何とかしよう」と前に進もうとします。その最初の一步こそが、成長のきっかけになります。私たちは、そうした一步を応援し、支えていきたいと考えています。仲間と支え合いながら挑戦を重ねることで、子どもたちは「やらない後悔」よりも「やった経験」を積み重ねていきます。それはきっと、子どもたちにとってかけがえのない力となり、充実した学校生活にもつながっていくはずです。

そのような中で、「みんなで一つのものを作り上げる」時間は、自分を成長させ、仲間の良さにも気付かせてくれる貴重な学びの機会となっています。学校祭はまさにその象徴的な場といえるでしょう。

また、本校では今年度も手稲中央、富丘、西宮の沢の3小学校と「パートナー校」として、小中一貫した教育に取り組んでいます。7月14日には、各校の児童会と本校生徒会とのオンライン交流を初めて実施し、学校の垣根を越えた有意義なつながりが生まれました。今後もこうした連携を深めることで、子どもたちが安心して中学校生活を迎ええられる環境づくりを進めてまいります。

2学期も引き続き、地域や保護者の皆様とのつながりを大切にしながら、子どもたちの一人一人の成長をしっかりと支えてまいります。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～2学期始業式 代表生徒のことば～

「2学期に向けて」

私には2学期がんばりたいことがあります。それは、受験生として気をぬかず勉強に取り組むことです。私は1学期本気で勉強し、始めて目標合計点数を達成したので、このまま継続していきたいです。

また、学年としては1学期がんばってきた、一人一人がしっかり声を出して歌う本気の合唱やあいさつなど、修学旅行でホテルや施設の方々に感謝の気持ちとして、伝えることができました。他にも、盛り上がる時は盛り上がり、真面目な時はしっかり切り換えられるところも3学年の良いところだと思います。けれど、1学期は3分前着席がゆるまっていたと感じたので、2学期では、3分前着席や1学期で学んだことを活かして勉強での空気作りをしていきたいです。それらをしっかりとやって、残りの学校生活の学校祭や体育大会など、何事にも全力で取り組んでいきたいです。